

企業・社会が 学生に求める能力とは

～学生のキャリア開発支援に
求められるもの～

日時

3.7 15:00-
⑤ 16:30

会場

50周年記念会館岩木ホール
(対面・WEBのハイブリッド)

オンライン会場



Microsoft Teams
こちらのURLから
ご入室ください



はたらく動機を
すべてのひとに。
RIASEC

Profile

1962年生、新潟県出身、東海大学卒業。株式会社リクルート入社。新規事業開発室にて日本初の個人向けキャリアアセスメントR-CAPを全国10万人の大学生利用を達成。大学生のキャリアデザインのための講演を全国の大学で200講座実施。優秀経営者賞受賞。2006年株式会社リアセック設立。ジェネリックスキル測定アセスメントPROGの開発と普及に従事し全国23万部、350大学での導入達成。現在、学ぶと働くとを繋ぐ大社接続事業を開発中。

リアセックキャリア総合研究所では、企業で働く全国4000人を対象に調査を実施し、「企業人の仕事・能力・学び」と「働き方志向」の相互関係を分析しました。近年、人的資本経営に向けた情報開示や経営改革に注目が集まっており、さらにDXの進展による人材の流動化やコロナ禍を契機とした働き方の多様化が顕在化しています。従業員のキャリア自律が進む中、ジョブ型雇用への関心が高まっています。一方で、堅調な新卒採用ニーズを受けて、以前に比べて内定取得に苦勞する学生は減少し、反作用として早期離職も話題になっています。

学生が卒業後に自律的に社会で活躍するためには、ジェネリックスキル（トランスファラブルスキル）の育成が肝要です。この点についてデータをもとに解説いたします。